



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

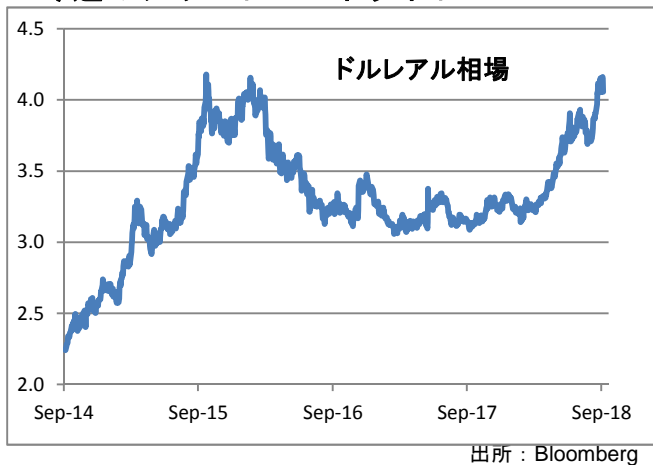
			8月31日	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.0550	4.1590	4.1600	4.1460	4.0560	-0.0900
	BRL/JPY	Spot	27.40	26.71	26.79	26.89	27.30	+0.41
	EUR/USD	Spot	1.1602	1.1620	1.1583	1.1633	1.1620	-0.0013
	USD/JPY	Spot	111.07	111.05	111.46	111.50	110.74	-0.76
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	7.339	7.410	7.420	7.420	7.234	-0.186
	Future	1Year(p.a.)	8.246	8.138	8.399	8.388	8.108	-0.279
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.844	3.962	3.946	3.946	3.931	-0.016
	USD	1Year(p.a.)	4.462	4.547	4.543	4.520	4.519	-0.001
株式	Bovespa指数		76,677.56	76,192.75	74,711.81	75,092.25	76,416.00	+1,323.75
CDS	CDS Brazil 5y		302.12	305.53	309.83	296.96	281.59	-15.37
商品	CRB指数		休場	192.955	192.124	191.013	189.783	-1.230

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは、極右候補のボルソナロ候補が選挙活動中に襲撃されたことを受けて週末引け際にかけて4.04台まで上昇。
- 今週のレアルは4.0580で寄り付いた。週初は米国休日の為流動性が低下する中、大統領選挙に関してルラ元大統領が立候補できなくても選挙活動には参加できるとの報道により、労働者党(PT)の候補が支持率を伸ばす可能性が示唆されたことや他新興国通貨の軟調推移の影響もあり、レアルは下落。週初に週間安値4.1900を付けた。介入への警戒感もあり直近の安値では下げ止まり、週末にボルソナロ氏が襲われると、同氏の当選確率が上昇するとの思惑からレアルは週間高値4.0400まで急上昇。金曜日は祝日により休場の中、結局4.0560で週越した。
- 31日、ルラ元大統領の大統領選出馬の可否に関する高等選挙裁判所判断がなされ、賛成6人、反対1人で同氏の立候補を認めない判断が下された。但し、選挙活動には参加できることから、引き続き同氏及び労働者党の動向には注視する必要がある。
- 3日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2018年の経済成長率予想が1.47%から1.44%へ下方修正された一方、2019年は2.50%で据え置き。インフレ率予想は2018年が4.17%から4.16%へ、2019年が4.12%から4.11%へそれぞれ下方修正された。年末の為替レートは2018年が3.75から3.80へレアル安方向に修正され、2019年は3.70で据え置かれた。
- 5日、国内調査会社Ibopeが政見放送後初の大統領選挙に関する世論調査を発表。ボルソナロ候補(支持率22%)が首位を走る中、左派のゴメス候補(支持率12%)が支持率を伸ばしシルバ候補(支持率12%)と並び、アルキミン氏は引き続き支持率を伸ばせなかった。但し、政見放送を通して支持率上昇が期待される同氏や、ルラ元大統領の支持率が流れることが期待される労働者党(PT)のアダジ候補(支持率6%)が今後いかに支持率を伸ばすかにより状況は大きく変わると思われる。

3. 今週のチャート&ハイライト



ボルソナロ候補が選挙活動中に襲われる

6日、ボルソナロ候補が中部ミナスジェライス州にて選挙活動中に襲われ、腹部を刺される事件が発生。同氏は負傷したものの、生命の危険はないことが確認された。その後犯人が左派の支持者だということが報道されると、財政改革に否定的な左派陣営の支持率が下がるとの思惑からレアルは買い戻される展開となり、株式市場も急上昇した。今後、8月末より開始された政見放送による影響以外に、今回の事件が世論調査の結果にどう表れるか注目が集まる。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませ。宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：4.00－4.20

来週のレアルは揉み合う展開を予想する。6日に発生したボルソナロ候補の襲撃事件を受けて、左派候補の当選確率が低下したことが短期的にはレアルを下支えする材料になると思われる。一方、今回の報道を受けてボルソナロ候補に対する同氏への同情票を集めることも予想され、今後支持率がアルキミン候補へ流れにくくなるという意見もある。引き続き第一回投票の10月7日の結果に関する不透明感に変化はないことから、来週に関してもリスクを取りづらい状況が続こう。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	IBGEインフIPCA(前月比)	0.00%	-0.09%	0.33%
ブラジル	IBGEインフ率IPCA(前年比)	4.29%	4.19%	4.48%
ブラジル	自動車生産台数	--	291425	245821
ブラジル	自動車販売台数	--	248623	217509
米	ADP雇用統計	200k	163k	219k
米	新規失業保険申請件数	213k	203k	213k
米	失業保険継続受給者数	1720k	1707k	1708k
米	製造業受注(前月比)	-0.6%	-0.8%	0.7%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	9/10	FGV CPI IPC-S	Sep 7	0.15%	0.07%
ブラジル	9/10	貿易収支(週次)	Sep 9	--	--
米	9/11	卸売売上高(前月比)	Jul	--	-0.1%
ブラジル	9/12	FIPE CPI-週次	Sep 7	--	0.37%
米	9/12	PPI 最終需要(前月比)	Aug	0.2%	0.0%
米	9/12	PPI 最終需要(前年比)	Aug	3.2%	3.3%
ブラジル	9/13	小売売上高(前月比)	Jul	0.3%	-0.3%
ブラジル	9/13	小売売上高(前年比)	Jul	0.8%	1.5%
米	9/13	CPI(前月比)	Aug	0.3%	0.2%
米	9/13	新規失業保険申請件数	Sep 8	--	203k
ブラジル	9/14	FGVインフ率IGP-10(前月比)	Sep	0.82%	0.51%
ブラジル	9/14	IBGEサービス部門売上高(前年比)	Jul	1.5%	0.9%
米	9/14	鉱工業生産(前月比)	Aug	0.4%	0.1%
米	9/14	設備稼働率	Aug	78.3%	78.1%
米	9/14	ミシガン大学消費者マインド	Sep	96.2	96.2

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。